



タオル体操の様子。子どもから年配の方まで誰でもできるのがニュースポーツです。

ニュースポーツ教室

6月第1〜3水曜日に、体育指導委員指導のもと、ニュースポーツ教室が行われました。

1週目は、佐賀町民館にて体力測定を行い、今後の体力作りの参考として、参加者へ体力年齢を算出した認定証を授与しました。

2週目以降は、総合センターにて、「タオル体操」と「ウォーキング」を行いました。

身近にあるものを使って簡単に体操ができることがタオル体操の特徴です。タオルを利用することでより効果的なストレッチができます。

ウォーキングは、音楽に合わせて、正しいフォームで歩きます。

腕をふることで、ひざを曲げずに大股で歩くことを意識しながら20分を2セット歩きました。

参加者からは「いい汗をかけた。腕に効くねえ」という声が聞かれました。

次回、ニュースポーツ教室は、9月に実施予定です。後日、開催地区にはチラシにて案内します。

平和の大切さを伝える展示会

争いをやめ 人間を大切にせよ。
人を信じ 人を大切にせよ。

戦争はいらない。

悲しい争いもいらない。

みんな笑顔 それが平和。

『佐賀小平和宣言』より抜粋

6月23日から1週間、佐賀小学校にて「平和資料展示会」が行われました。6年生の平和学習の成果を学校や保護者に紹介することを目的としたもので、3年前とおととしに実施し、今年で3回目。修学旅行先の広島で学んだことのまとめや、広島平和資料館から借



6年生みんなで意見を出し合って作った「佐賀小平和宣言」を朗読。

りたパネル・絵画を展示しました。

22日の参観日に行われた開会式では、6年生全員で『平和宣言』を朗読し、平和学習で学んだ、峠三吉の詩や、平和の灯、原子爆弾などのまとめをそれぞれ発表しました。

その後、展示会場に移動し、

『市民が描いた原爆の絵』など、児童が展示の説明をしながら保護者を案内しました。



期間中は、20分休みと昼休みに下級生や地域住民が自由に見学できるようにし、6年生が当番で受付や案内を行いました。今年の来場者は延べ258名と過去最高。見学者からは「6年生はこんな学習を広島でやってきたのすごい」、「パネルやビデオで低学年にも分かりやすかった」、「この世界がいつか平和になればいいな」などの感想が寄せられました。

同校では、これらの感想を励みに、これからも平和の大切さについて学び、行動に移すことを課題として取り組んでいくと決めています。



沖縄戦や広島・長崎の原爆に関するパネル展。展示の方法や順番も児童が考えました。